



第36期役員紹介・新任役員のご挨拶



左から、瀧監事・吉田理事・染谷理事・常松理事・柴田理事・藤井理事・石貝業務執行理事・井上監事
横田専務理事・池端代表理事・安齋理事・篠塚常務理事・吉田理事・森本監事・八巻理事



この度、理事に就任しました常松です。パルシステムの組合員となり、商品を購入するなかで、商品に対するこだわり、産直産地や生産者の方々と直接つながる事で、安心安全が美味しに繋がっている事はとても素晴らしいと実感しています。これからは組合員の皆さまのお力になれる様、微力ではありますが、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。(常松 悦子)

このたび、理事に就任いたしました八巻さとみと申します。就任のきっかけは、パルシステムの商品が好きだという思いからでした。また、日々の暮らしの中で、私たちの生活の場である地球の未来について考えさせられる場面にも多く出会います。そうした中で、パルシステムの理念に深く共感し、生命の連鎖や、未来へと繋がる持続可能な社会の実現に、少しでも貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。(八巻 さとみ)



この度 6 年振りに再任いたしました、吉田智子です。日頃よりユニセフ・へいわ委員会での平和活動、ぱるっ子クラブでの子育て支援活動、PLA での食育活動などに関わらせていただき、食の大切さを中心としたパルシステムの理念でもある「心豊かな暮らし」や仲間と共に活動していく「共生の社会」の素晴らしさを実感しています。少しでもその理念を伝え広げていくお手伝いをしたいです。どうぞ宜しくお願いいたします。(吉田 智子)

1989 年に柏市民生協に入り、地域担当として勤務後、2001 年から経理担当として管理部門に 24 年間従事し、その間にパルシステム千葉とパルシステム共済連で組織合併や子会社設立などの大きな改変を経験しました。今回パルシステム福島の監事という重責を担うにあたり、様々な監査や調査を受けた経験を活かし、財務的視点から健全な組織運営のため職務を全うしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。(森本 修一)



退任役員ご挨拶



2011 年に就任して以来、14 年間を振り返ると委員会活動、産地交流、工場訪問、震災後の保養ツアーなど多くの出会いと感動、学びがありました。特に、商品開発チームでの活動は10の商品に関わらせて頂き、商品を作り上げるのはもちろん、報告会のステージ発表の思い出は今でもすぐに蘇ってきます。皆さんとの楽しかった思い出は私にとってかけがえのない宝物です。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。（遠藤 裕美）

この度 12 年間勤めさせていただいた理事を退任いたします。

在任中は 組合員の皆様には 多大なるご理解とご支援を賜り 心より感謝申し上げます。皆様と出会い、そして とともに歩んだ日々は私にとってかけがえのない宝物となりました。これからは 1 組合員として パルシステム 福島を応援してまいります。パルシステム 福島が これからも 地域社会に貢献し さらに発展していくことを心より願っております。本当にありがとうございました。（矢吹 弥生）



5 期 10 年理事を無事務めることができたのは、組合員の皆様と職員の方々のおかげであつてのことでした。感謝を申し上げます。郡山から毎月 2 回の会議はコロナの時の 1 回欠席しただけで、10 年間欠かさず出席できました。振り返ってみると自分でもビックリです。人生後半にこのような充実した時間を過ごすことができ、非常に満足しています。これからもパルのファンであり続けます。パルシステム福島の益々の発展をご祈念申し上げます。

本当にお世話になりました。有難うございました。（影山 裕子）

この度理事を退任した今田です。組合員の皆様のご協力のもと退任を迎えることが出来ました。ありがとうございました。その中で、多くの活動に参加出来たことはとても有意義な出来事でした。これからも様々な活動のご案内があると思いますが将来心豊かな一助になる出来事に会えることもあります。是非皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

私自身、これからも委員会活動や様々なイベントに参加していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。（今田 君枝）



2023 年～2025 年の 2 年間、組合員のみなさんの支えと職員のみなさんの協力をもって、パルシステム福島の監事の一人として監査にあたる事が出来ました。本当にありがとうございました。

今後のパルシステム福島のますますの発展を願います。（加藤 博美）

皆さまのご活躍に感謝申し上げます。

イベント開催案内

申込締切 8月22日(金)



スマホで簡単申込みはこちら→

ツナ缶はパルで決まり！ こだわりと美味しさをおすそ分け♪



パルシステムには 3 種類のツナ缶があるのをご存じですか？オイル使用・ノンオイル・食塩無添加ノンオイル。どれもタンパク質が豊富で、お子様から大人まで簡単にお魚が摂れる逸品です！今回はツナ缶でお馴染みのいなば食品様より講師をお招きし、おいしいツナ缶の秘密と製造方法を教えていただきます。
いわき市の給食で大人気！ツナご飯の試食もあります♪

開催日時: 9月5日(金)

開催場所: いわき みんなの交流館

募集人数: 20名 ゲスト可

託児: 有り

参加費: 無料

*ツナ缶を使ったお料理の試食があります

主催: 組合員活動推進室



画像はイメージです

もったいない所へ
超えてく

商品展示試食会

参加費: **無料**

～食べて支える、作り手と私の笑顔～

会場 ビックパレットふくしま(福島県郡山市南2丁目 52-52)

9月27日(土) 10:00～13:00(予定)

こんせんくんにも
会えるかも!?

**30社以上のメーカーが参加予定！
お楽しみブースも出店予定！
情報は随時更新していきます♪**



*お預かりした個人情報は、参加集約・詳細の連絡以外に使用いたしません。*申込用紙は、配送担当者に直接渡して頂くか、分かりやすいように注文書と一緒にご提出下さい。*託児について(ゲスト不可)1名 300円 生後4ヶ月以上で首がすわったお子さま

キリトリ

8月3回「ツナ缶はパルで決まり！」イベント申込書

申込締切 8月22日(金)

組合員番号	お名前	電話番号
託児希望の方はお子さまのおなまえと月齢		才 ヶ月
ゲストの方のお名前		



In 伊達

産直たまごの学習会を開催しました！

パルシステムでは19ヶ所の鶏卵産地によって新鮮な卵をお届けしておりますが、今回はその中から『伊豆鶏業』の佐藤俊夫さんをお招きし、【コア・フード平飼いたまご】についての学習会を、組合員と職員合わせて14名が参加して開催しました。

○コア・フード平飼いたまごとは？

- ① 自然の光と風を取り入れ自然換気ができる解放鶏舎で、鶏が自由に行動できる飼育
- ② 鶏舎内では化学合成殺虫剤・細菌剤・洗浄剤は使用しない。
- ③ 抗菌剤など、飼料添加物を使用しない。
- ④ 遺伝子組換えの混入を防ぐため分別生産流通管理された飼料を使用し、そのうち国産飼料の10%以上は使用する。



これらの基準をもとに飼育された鶏の卵です。

○伊豆鶏業

は天城山中腹の標高380メートルの大自然の中にあり、自然な空気がいっぱい溢れ、ワサビ沢の新鮮な湧水を飲料としているため、鶏にとって最高の環境にあり、約1万5千羽の平飼いたまごの卵を14人の職員が毎日手作業で丁寧に集卵しています。

たまごの品質を高めるためには鶏の健康が第一！

良い水、良い空気、良い飼料の3つが揃ってこそ、臭みが少なく、上質なたまごになるそうです。さらに飼料は全て自家配合で、鶏の状態をみて飼料を配合しています。一般的には主にトウモロコシを与えることが多いですが、伊豆鶏業は静岡県産米を多く使用し、その他に大豆ミールや乾燥おから等を配合しています。しかし、世間の米騒動により飼料米も以前より仕入れが厳しくなり、来年には半分の量しか仕入れることができなくなる見込みですが、「米の飼料に拘らず国産の飼料で育てていきます。」と話されていました。



○市販品との食べ比べを実践！



割った殻のにおいを嗅ぎ、市販品に比べて生臭さが圧倒的に少なく、黄身の味も濃厚な旨味と甘味があるのに後味はさっぱりしていて、たまご本来のおいしさを味わうことができました。最後の質疑応答では組合員からの質問も多くたまごへの関心の高さを感じることができました。今後も組合員に産直たまごをお届けさせていただくことによって、鶏卵産地の方も応援できるのだと、改めて実感しました。



発行／生活協同組合パルシステム福島

pal*system
生活パルシステム福島

■いわきセンター

〒972-8316 いわき市常磐西郷町落合278
FAX0246-43-0247 発行者：佐藤 紀彰

■郡山センター

〒963-0551 郡山市喜久田町字上尾池51-6
FAX024-963-1815 発行者：佐藤 淳一

■伊達センター

〒960-0670 伊達市保原町桑田1-8
FAX024-597-8781 発行者：渡邊 泰

電話でのお問い合わせ 0120-868-014 (月～金曜日：9時～20時 土曜日：9時～17時)